

(報告) 2023年度 ユーザー理解活動

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2024年6月4日

《目次》

1. 2023年度 ユーザー理解活動に要した費用	・・・ P 2
2. 取組サマリー	・・・ P 3
3. 第7回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果	・・・ P 4
4. ニュースリリースの配信結果	・・・ P 7
5. 運転免許センターの協力を得た情報発信	・・・ P 8
6. 音・映像による関心を得るための活動	・・・ P 9
7. まとめ・2024年度に向けた取り組み	・・・ P 10

1. 2023年度 ユーザー理解活動に要した費用

決算額は **20,296万円**（執行率：77.5%）であった。（予算残6,000万円の内入札による委託費減 / 内製等による効率化が約4,000万円）

（表記載単位：万円）

#	取組みの目的	施策例	計画額	決算額	執行率	主な差異理由
1	➤ 地域ユーザーの知る機会の創出 ➤ 地域ユーザーの認知拡大・関心喚起	▸ 地域イベントへの出展・参加 ▸ 常設展示施設での普及啓発	4,510	3,953	87.6%	
2	➤ 小学生の学びの機会の創出 ➤ 保護者・教育関係者の認知拡大・関心喚起	▸ 関係者の努力・工夫を紹介 ▸ 学校教育に役立つ情報を提供 ▸ 作品コンクールを開催	6,050	5,271	87.1%	入札による委託費減
3	➤ 若年層の知る機会の創出 ➤ 若年層の学びの機会の創出	▸ 自動車教習所での普及啓発 ▸ 関係者の努力・工夫を紹介	2,050	1,086	53.0%	見学会を委託せず内製で対応
4	➤ 各施策の相乗効果を高める取組み ➤ 音や映像による認知拡大・関心喚起	▸ ニュースリリース / パブリシティ	0	0	-	
		▸ メディアを通じて音源・動画等の配信	8,700	7,801	90.0%	
5	➤ 透明性の確保、発信情報の改善	▸ 公式ウェブページ等の制作・改善等 ▸ チラシ・ポスター等の制作・増刷等	4,790	2,106	44.0%	入札による委託費減 広報冊子の在庫活用 等
6	➤ 自動車リサイクル認知度の変化等を把握	▸ ユーザーの認知状況の把握 他	100	79	84.1%	
合 計			26,200	20,296	77.5%	

2. 取組サマリー

#	分類	主要な施策とその実績（まとめ）	
1	全国地域イベント	・ <u>地域イベント10か所</u> に出展を通じて広く普及啓発を実施。・・・札幌、上尾、広島、水戸、金沢、秋田、名古屋、福岡、東京、京都）	
2	常設展示	・東京・大阪の施設を活用し、来場者への普及啓発を実施。・・・来場数： <u>東京年319,028人、大阪年68,186人</u>	
3	運転免許センター	・熊本、福岡、愛知、石川、群馬、広島、愛媛、三重、富山、仙台、札幌の <u>10か所で情報発信</u>	詳細後述
4	高速道路サービスエリア	・ <u>47か所</u> で情報発信	
5	小学生向け学習支援	・ <u>自動車リサイクルの現場見学会</u> （製造・販売・オークション・整備・解体）を実施。 ・現場の取組を紹介した企画記事を <u>小学生新聞等約144万部</u> 展開	
		・ <u>第7回「クルマのリサイクル作品コンクール」</u> を主催。 <u>全国から160団体、7,774件の作品</u> を受領。 ・入賞者を対象とした表彰式を開催。小学校3校に対して個別訪問表彰を実施。	詳細後述
6	若年層向け普及啓発	・ <u>運転免許学科教本</u> に自動車リサイクルに関する情報を <u>約63万部掲載</u> 。 ・若年層を対象にした <u>自動車解体現場の見学会を5回</u> 実施。	詳細後述
7	メディアの活用	・効果的な情報発信の一環としてニュースリリースを合計30回配信。当該情報が <u>ネットメディアに1,697件転載</u> 。 ・自動車リサイクルに関する訴求点を <u>地上デジタル放送で837回、ラジオ放送で1,094回</u> 配信。 ・ <u>週刊東洋経済（約9万部）</u> および <u>日経ビジネス（約14万部）</u> を用いて自動車リサイクルに関する企画記事を掲載。 ・Google、Yahoo！等の <u>ネットメディア</u> を活用し、「自動車リサイクル」に関する情報が <u>約150万件表示</u> 。	詳細後述
8	公式ウェブサイトの活用	・年間通じてタイムリーに自動車リサイクルに関する情報を発信。公式ウェブサイトへのアクセス数は年間650千件。 ・外国人ユーザーの利便性向上を目指して、 <u>Google機能を活用した英訳機能を設置</u> 。	
9	ユーザーニーズの把握	・ <u>ユーザーを対象としたアンケート調査の結果、自動車リサイクルに関しての認知度は約75.8%</u> ・地域イベント13か所で来場者を対象にアンケート調査を実施し、合計8,395件の回答を回収。	

3. 第7回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果（1 / 3）

全国から**7,774件**（前年度7,011件）の作品を受領。 表彰式を自動車会館 くるまプラザにおいて 3/29 に開催。

受賞者 (https://www.jarc.or.jp/competition_count/contest2023result/)

1. 入賞結果

（1）最優秀賞



北海道札幌市立資生館小学校4年
縄 乃々香

リサイクル
つながれ広がれ
車のリレー

鹿児島県鹿児島大学教育学部附属小学校2年
白坂 稟

（2）小学生新聞賞



福岡県行橋市立泉小学校4年
工藤 駿介

大切に
乗ったら次は
リサイクル

北海道札幌市立資生館小学校4年
縄 乃々香

3. 第7回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果（2 / 3）

（3）審査員特別賞



山形大学附属小学校5年
佐藤 綾芽



北九州市立北方小学校3年
廣田 琴美



大分市立金池小学校2年
岡田 康汰



滑川市立西部小学校3年
網谷 果絵

**リサイクル
クルマを未来に
バトンパス**

武蔵野市立本宿小学校5年
関口 愛望

**会えるかな
リサイクルした
車たち**

唐津市立相知小学校5年
吉武 龍之介

**思い出の
詰まった車
リサイクル**

上尾市立上平小学校5年
北川 梨咲

**自動車は
生まれ変わるよ
何度でも**

川崎市立西丸子小学校2年
後藤 奏太

3. 第7回「クルマのリサイクル作品コンクール」の実施結果（3/3）

（4）団体賞

武蔵村山市立大南学園第七小学校
つくば市立学園の森義務教育学校
相模原市立大野小学校
三郷市立新和小学校
輝翔学園 つくば市立谷田部小学校
福津市立福間南小学校
行橋市立泉小学校
横浜市立篠原小学校
太田市立木崎小学校
観音寺市立観音寺小学校

（5）団体特別賞

石垣市立伊野田小学校
福島県喜多方市立上三宮小学校
広島市立瀬野小学校

2. 表彰式の様子



4. ニュースリリースの配信結果

ニュースリリースを30件配信し、当該情報がネットメディアに1,697件転載。

	配信	内容	掲載数 (件)	広告換算* (万円)
1	4/12	第 6 回「クルマのリサイクル」作品コンクール表彰式を開催	1,697	71,374
2	4/13	「環境広場ほっかいどう2023」に出展		
3	4/14	令和5年度事業計画を策定		
4	4/24	「環境広場ほっかいどう2023」に出展しました		
5	5/12	「SAITAMA環境フェス」に出展		
6	6/14	令和 5 年度「環境の日」ひろしま大会に出展		
7	7/25	大学生を対象とした「自動車リサイクル現場見学会」開催結果		
8	7/31	「自動車リサイクルデータ Book 2022」を公表		
9	8/7	「水戸市環境フェア 2023」に出展		
10	8/9	自動車整備事業者の取り組みを学ぶ見学会を開催		
11	8/10	オークション会場の取り組みを学ぶ見学会を開催		
12	8/18	「いしかわ環境フェア 2023」に出展		
13	8/28	「第21回あきたエコフェス」に出展		
14	9/1	第7回「クルマのリサイクル」作品コンクール開催		
15	9/7	「いしかわ環境フェア2023」に出展しました		
16	9/13	「環境デーなごや2023 中央行事」に出展		
17	9/14	「第21回あきたエコフェス」に出展しました		
18	9/21	自動車メーカーの取り組みを学ぶ見学会を開催		
19	9/25	「環境デーなごや2023」に出展しました		
20	10/2	「環境フェスティバルふくおか2023」に出展		
21	10/17	「環境フェスティバルふくおか2023」に出展しました		
22	10/23	第 2 回「自動車リサイクル会議」を開催		
23	11/13	自動車販売店の取り組みを学ぶ見学会を開催		
24	11/20	福島大学の学生を対象にした「自動車リサイクル現場見学会」開催結果		
25	11/29	解体事業者の取り組みを学ぶ見学会を開催		
26	11/30	「エコプロ2023」に出展		
27	12/19	沖縄振興開発金融公庫とのエンゲージメントを実施		
28	12/20	「エコプロ2023」に出展しました		
29	1/26	「京都環境フェスティバル2024」に出展		
30	3/29	第 7 回「クルマのリサイクル」作品コンクール 入賞者決定のお知らせ		

News Release

第2回「自動車リサイクル会議」を開催しました

公益財団法人自動車リサイクル協会
士は、第2回「自動車リサイクル会議」を開催しました。

本財団は、自動車リサイクルを目的とした「自動車リサイクル会議」を、昨年の第1回（白馬）に続き、今年度の第2回（白馬）を開催しました。この会議は、自動車リサイクルの推進を図るため、関係機関・団体と連携し、取り組みの共有を図ることを目的として開催されています。

今年の第2回「自動車リサイクル会議」は、4月23日（土）に開催されました。この会議には、関係機関・団体から約50名が参加しました。会議では、関係機関・団体の取り組みの共有を図ることを目的として開催されています。

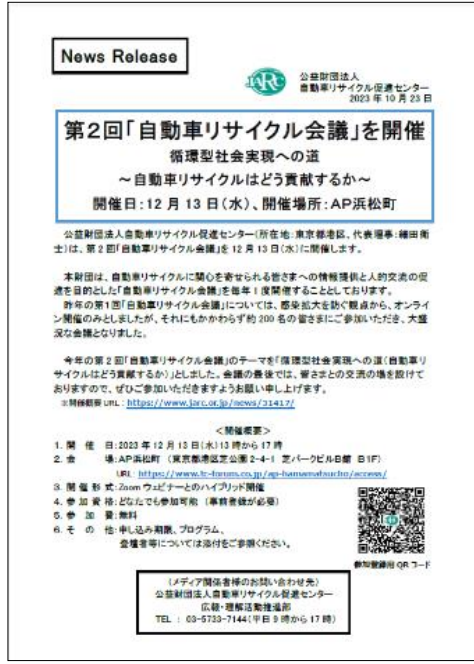
1. 開催日: 2023年10月23日（土）
2. 会場: APM（白馬）
3. 開催形式: Zoom
4. 参加費: 無料
5. 参加費: 無料
6. その他: 抽選で入賞者決定

第2回「

(参考) インターネットメディア例

CNET Japan、ZDNET Japan、RBB TODAY、
共同通信デジタル、Response、ZAKZAK、
週刊女性PRIME、exciteニュース、Infoseekニュース、
J-CAST ニュース、毎日スタイル 他

ニュースリリース例



第2回「自動車リサイクル会議」を開催



沖縄振興開発金融公庫との
エンゲージメントを実施

5. 運転免許センター・高速道路サービスエリアを活用した情報発信

10か所の運転免許センターに加え、新たに高速道路サービスエリア47か所での情報発信を実施。
自動車ユーザーや運転免許を取得または更新するユーザーに対して、より広く普及啓発活動を展開していく。

■ 運転免許センター

合計10か所（利用者数：年間延べ248万人）で情報発信中。

エリア	運転免許センター等
群馬県	群馬県総合交通センター
愛知県	東三河運転免許センター
富山県	富山県運転教育センター
福岡県	福岡自動車運転免許試験場
三重県	三重県運転免許センター
熊本県	熊本県運転免許センター
広島県	広島県運転免許センター
北海道	札幌運転免許試験場
愛媛県	愛媛県運転免許センター
宮城県	宮城県運転免許センター



■ 高速道路サービスエリア

合計47か所（利用者数：年間延べ約2億人）で情報発信中。

＜展開エリア＞



浜名湖SA

宝塚北SA



6. 音・映像による関心を得るための活動

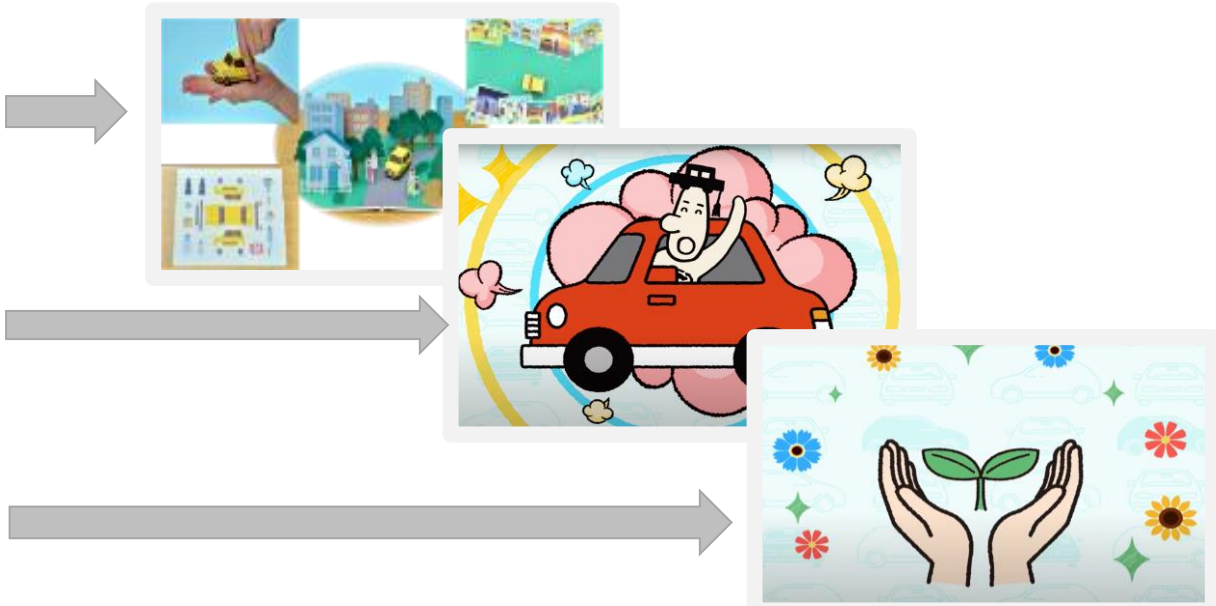
自動車リサイクルに関する訴求点を地上デジタル放送で**837 回**、ラジオ放送で**1,094回**配信し、**延べ約3億人**に情報を届けた。

(1) 音・映像の配信計画

区分	区分	配信期間	放送局	延べ接触者数（想定値）
テレビ（地上波）	関東除く全国	6月から1月	各道府県放送局	1億2,000万人
ラジオ	全国	6月から2月	TOKYOFM、文化放送、ニッポン放送、各地域	1億8,000万人

(2) 配信動画・音源

- ① 配信動画「自動車リサイクル 地球もクルマも回ってる」
https://youtu.be/v_6isgxtr-U?si=ZbROhnnW-gzwnLUM
- ② 配信音源『自動車リサイクル 駆け巡る資源』篇
<https://www.youtube.com/watch?v=nVaZweGPxNk>
- ③ 配信音源『自動車リサイクル 地球も資源もくるくるまわる』篇
<https://www.youtube.com/watch?v=AQNqYuHdVJg>



7. まとめ・2024年度に向けた取り組み

- インターネット等の掲載も増加しており、メディアに関心を喚起することで、効率的に広く普及啓発を実施している。

現在のユーザー認知度約75%からの向上を目指し、特に、認知度の比較的低い若年層と地方への展開を強化していく。

- 若年層
 - ・ SNS等のメディア活用
 - ・ 大学生向け現場見学会
 - ・ 運転免許センターの活用
- 地方の底上げ
 - ・ 地方放送（テレビ・ラジオ）の配信強化
 - ・ 道の駅, 高速道路サービスエリア等の活用
 - ・ 常設展示施設の増設（九州地区）

- 将来のリサイクルの核を担う児童に向け、資源循環の重要性も盛り込んだ学びの機会を拡大する。

- 小学生向け図書の寄贈（自動車リサイクルの漫画調教材）
- 小学生向け出前授業の本格化

／以上